

# 富山駅付近連続立体交差事業 あいの風とやま鉄道富山駅 全線高架化



## 富山駅付近連続立体交差事業のあらまし

富山駅付近は、鉄道により南北に分断されているうえ、鉄道と交差する2本の道路が2車線しかないため、駅南北間の交通が渋滞し、また駅周辺の効率的な土地利用や一体的なまちづくりに支障をきたしていました。

あいの風とやま鉄道富山駅においては、連続立体交差事業により、平成27年4月のあいの風鉄道上り線及びJR高山本線の高架化に続き、このたび下り線を高架化し、全線高架化の運びとなりました。

今後は、富山地方鉄道本線の高架化を進めるとともに、高架下で交差する道路の新設や拡幅、さらには路面電車の南北接続や歩行者用通路の整備などを行い、南北一体となったまちづくりを推進します。



# あいの風とやま鉄道富山駅全線高架化完成

～平成31年3月4日～

## ●富山駅の移り変わり



事業着手当時のホーム (H18)



事業着手当時の富山駅舎 (H19)



仮線供用時の富山駅舎 (左が仮駅舎、H22)

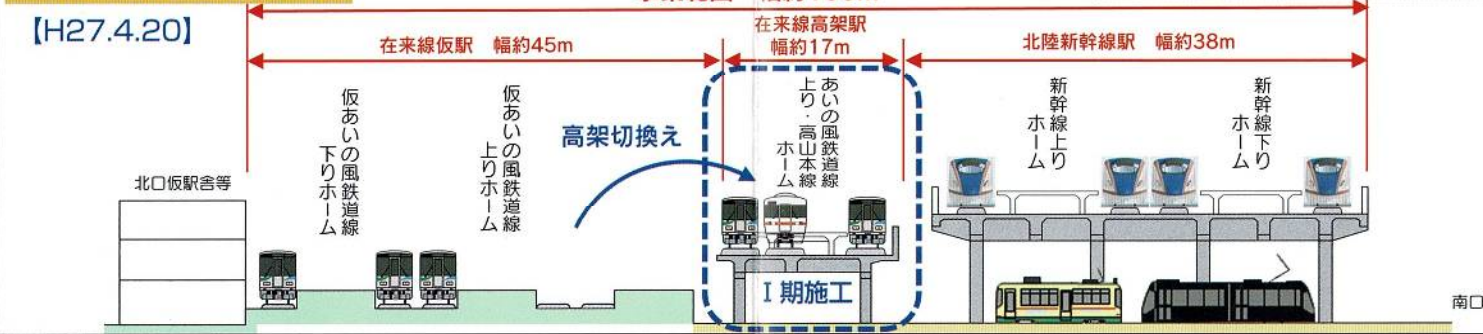


現在

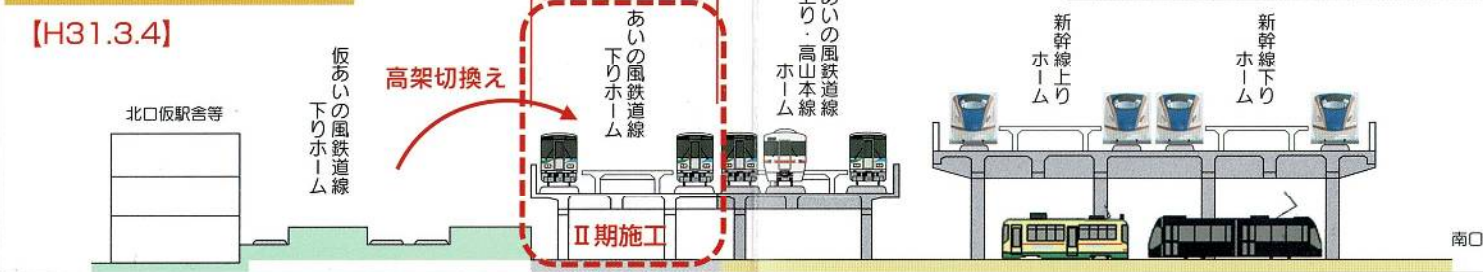
## ●全体計画平面図



## ●上り線の高架切換え



## ●下り線の高架切換え



## ●鉄道と交差する幹線道路整備

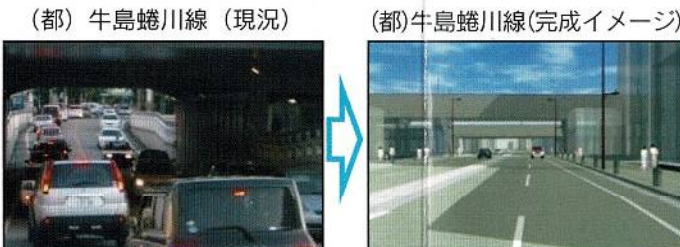


### 【拡幅・アンダーパスの平面化】

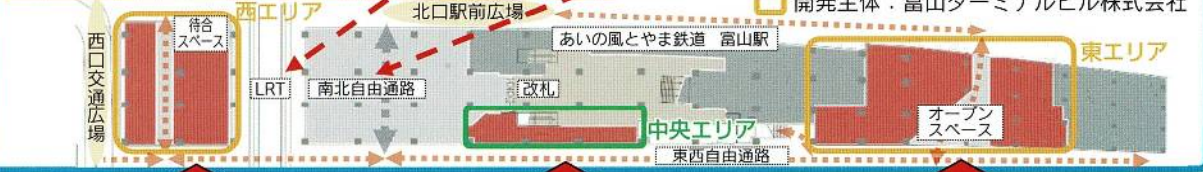
- (都)牛島蛭川線 (県)
- (都)堀川線 (富山市)

### 【新設】

- (都)富山駅南北線(富山市)
- (都)富山駅横断東線(富山市)



## ●あいの風とやま鉄道富山駅構内図(高架下)



### 西エリア (約874㎡)



### 中央エリア (約194㎡)



### 東エリア (約1,346㎡)



## ●あいの風とやま鉄道富山駅高架下開発計画

(イメージ)

## ●事業の概要

- 事業区間**  
富山市明輪町～曙町地内 L=約1.8km
- 事業費**  
全体事業費：約297億円  
(あいの風とやま鉄道線・JR高山本線)
- 事業者**  
事業主体：富山県  
施行主体：西日本旅客鉄道株式会社  
あいの風とやま鉄道株式会社
- 事業の経緯**  
H12 採択要件の緩和  
「大規模な改築予定のある既設の立体道路\*は踏切と見なす」  
※(都)牛島蛭川線、(都)堀川線  
H13 北陸新幹線越え・富山間フル規格認可  
H15 国庫補助調査費を計上  
H16 着工準備採択  
H17 都市計画決定、都市計画事業認可、富山港線の移設  
H18～ JR北陸本線・JR高山本線移設工事  
H23.5 高架橋工事本格着工  
H27.3 北陸新幹線の開業  
H27.4 あいの風鉄道線上下り線及びJR高山本線高架切換え  
H31.3 あいの風鉄道線下り線高架化完成

## ●富山駅構内関連事業 (富山市事業)





## ～これまでの工事の変遷～



H11 事業着手前



H22 仮線供用



H27 上り線供用



H29 下り線工事中

## ～新しい富山駅のデザイン～



改札内コンコース



ベニスワイガニ



越中おわら風の盆



ライチヨウ



チューリップ

壁面は白基調のアルミ材、天井には暖色系の木目調のアルミ材及びあいの風とやま鉄道のロゴマークを踏襲したあいの風ラインを使用しています。また、柱にはあいの風とやま鉄道のイベント列車「とやま絵巻」の車体等に使用されているデザインを採用し、富山県の自然や文化、地域の特徴を表現するなど、明るく親しみやすい駅となっています。